

週間漁海況情報—第12号

平成24年3月26日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.3.26）を示した。

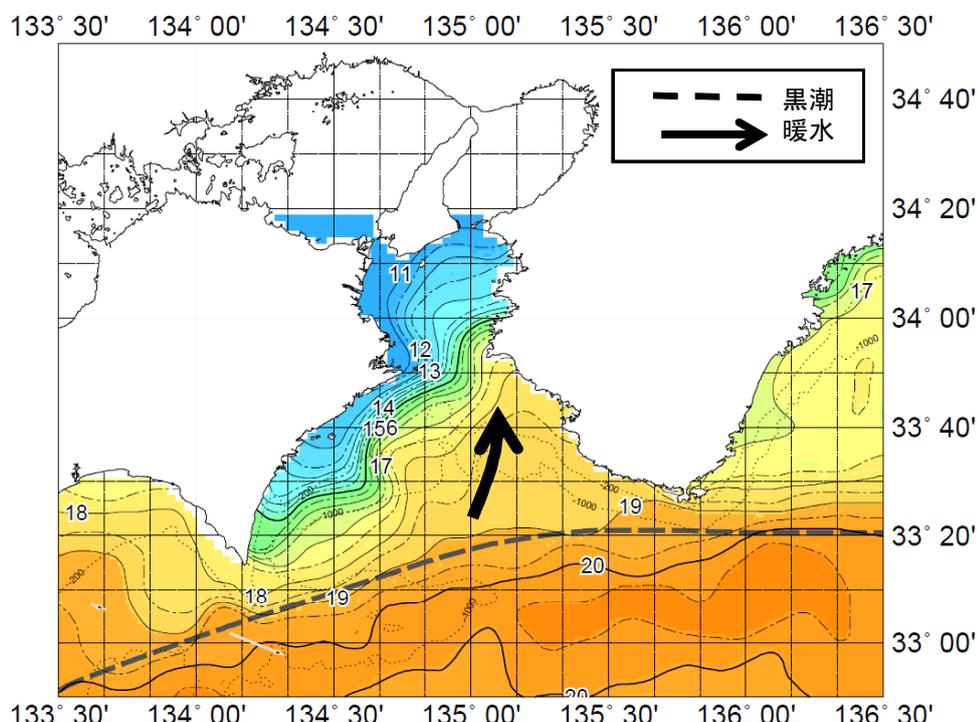
黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9℃台、紀伊水道で9～13℃台、海部沿岸で13～18℃台である。

紀伊水道外域では和歌山県沿岸に暖水流入がある。

海部沿岸では、内海系水の南下がみられ、高知県に至るまで17℃以下の内海系水に覆われている。

漁業調査船「とくしま」で3月14、15、21日に行った海部沿岸海区の海洋観測では、水温は表層から30m層で「やや低め」の15.6～15.7℃、50m層で「平年並み」16.7℃、100m層で「やや高め」の16.3℃であった。



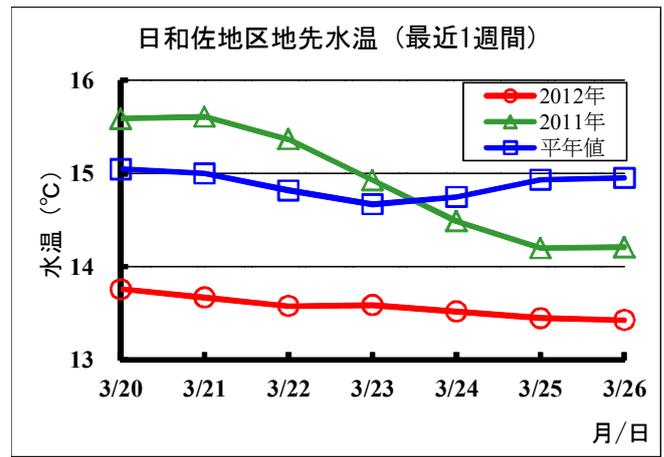
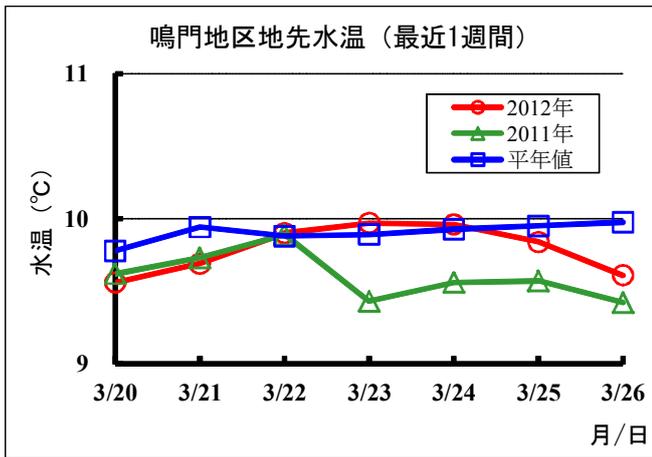
海部沿岸海区観測結果

観測日		水 温						塩 分					
		表層	10m	20m	30m	50m	100m	表層	10m	20m	30m	50m	100m
3/14, 15, 21	今年値	15.6	15.6	15.7	15.7	16.7	16.3	34.2	34.3	34.3	34.3	34.6	34.6
	平年偏差	-0.8	-0.7	-0.6	-0.5	0.4	0.7	-0.3	-0.3	-0.3	-0.2	0.0	0.0
	前年偏差	1.1	1.2	1.4	1.5	1.7	2.2	-0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」の9.6～10.0℃、日和佐地区で「低め」～「やや低め」の13.4～13.8℃、牟岐地区は「かなり低め」～「低め」の12.5～13.5℃で推移した（図は次ページに掲載）。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にキダイが0.2トン（1日1隻当たり23kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸でブリが0.5トン（同14kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小小のマサバが0.3トン（同17kg）、カタクチイワシが0.3トン（同6kg）、水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、ブリが0.9トン（同129kg）、メジロが0.7トン（同96kg）、いわし類が1.7トン（同245kg）、小主体にマサバが0.8トン（同114kg）、小主体にスルメイカが0.4トン（同57kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にタチウオが0.3トン（同53kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 3月19日～3月25日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	9	203	23	大主体
建網		ブリ	37	532	14	
小型定置網		マサバ	20	340	17	小小
		カタクチイワシ	42	254	6	
大型定置網		ブリ	7	903	129	
		メジロ	7	672	96	
		いわし類	7	1,715	245	
		マサバ	7	798	114	小主体
		スルメイカ	7	396	57	小主体
釣り			タチウオ	5	265	53

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年3月21～27日の海部沿岸では、延縄でキダイが0.3トン、建網でブリが0.6トン、小型定置網でアオリイカが0.8トン、マイワシが0.4トン、マサバが2.8トン、マルアジが0.4トン、大型定置網でブリが10.8トン、メジロが1.6トン、ハマチが0.5トン、アオリイカが0.3トン、マサバが1.3トン、マルアジが0.3トン、釣りでタチウオが0.2トン、メジロが0.4トン、ハマチが0.5トン、マサバが0.4トン、紀伊水道では、釣りでタチウオが0.4トン、パッチ網でイカナゴが6.8トン水揚げされていた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「接岸」～「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。海部沿岸では、引き続き低水温の内海系水に覆われる見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」～「平年並み」の9～10℃台、日和佐地先は「低め」～「やや低め」の13～14℃台で推移する見込み。